

極秘

(審議會議案草稿)

帝都復興策大綱

大正十二年九月十二日

詔書ノ御旨ヲ奉戴シ大體東京及橫濱ノ都市

計畫區域ヲ以テ帝都復興計畫ノ規模トシ速ニ罹災地ノ復興ヲ圖ルト共ニ
交通衛生保安及經濟等ニ關シ永久ニ帝都ノ安寧ヲ維持シ福利ヲ増進スル
爲左記ノ要綱ニ依リ緩急序ヲ逐ヒ成案ヲ得ルニ隨ヒテ帝都復興院評議會
ニ諮問シ帝國議會ノ協贊ニ俟チ着々實施シテ災後ニ善處シ以テ興國ノ基
ヲ固メムトス

第一 帝都復興計畫ハ獨リ帝都ノ舊態ヲ回復スルニ止マラス進ンテ將來
ノ發展ヲ圖リ以テ巷衢ノ面目ヲ新ニスルヲ要旨トス然ルニ東京ハ

先帝登極ノ初特ニ

車駕東幸シテ宮城ヲ定メサセ給ヒテヨリ五十有

六年ノ星霜ヲ閱シ既ニ國都トシテノ規模略備ハリ既成ノ街衢ト既定ノ都市計畫トハ自ラ構築ノ規格ニ適スルモノ少カラス依テ此等ノ成跡ハ事情ノ許ス限り之ヲ尊重シ地域ノ制ト交通ノ系統ヲ整備シ相俟チテ燒失地域ニ於ケル復興ヲ容易ナラシム

第二 大震火災ノ慘害ニ鑑ミ交通幹線ノ開通ニ意ヲ用キ主要路線ノ規格ハ幅員二十四間以上（廣路）トシ商工業ノ地域ニ在リテハ幅員六間ヲ最少限トシ一切ノ建築物ハ豫メ建築線ノ指定ヲ受クルニ非サレハ建築スルヲ得サラシメ一團ノ建築敷地ニシテ其ノ利用ノ完カラサルモノハ區劃ヲ

整理シ開發ヲ促進ス

第三 各種營造物等ニシテ市内ニ存置スルノ必要ナキモノハ之ヲ郊外適當ノ地ニ移轉セシムルノ方針ヲ採リ其跡地ハ所在地域ノ性質ニ依リ公園其他公用ニ供スヘキ部分ノ外之ヲ市街宅地ト爲シテ開發スルヲ旨トシ市街地建築物法ニハ此際適當ナル修正ヲ加ヘ特ニ保安ニ備フ

第四 一切ノ復興計畫ニ付テハ復興院總裁ヲシテ規畫ノ統制ヲ爲サシムト雖モ之ニ基キテ執行スヘキ各種ノ事業ノ執行ニ付テハ出來得ル限り自治ノ運用ニ俟チ國ノ直轄施行スヘキ事業ハ從來ノ例ニ依ルヲ本則トシ帝都復興院ハ特ニ委託ヲ受ケタル場合ノ外主トシテ國ノ營造物ト看做スヘ

キ施設ノ執行ヲ擔當ス其概目左ノ如シ

一 横濱港ノ修築及東京灣ニ於ケル内國貿易設備ノ完成並兩港連絡ノ爲

ニスル水運及京濱國道ノ改良工事

二 幅員六間以上ノ街路（高速度鐵道及電氣軌道路線ヲ含ム）ノ新設及

擴築工事並之ニ伴フ廣場及橋梁ノ改良工事（鋪裝工事ヲ含ム）

三 河川運河ノ修築工事

四 下水改良工事

五 大公園

六 街路ヲ占用シテ施設スル工作物類ノ整理工事

七 防火設備

八 以上各號ノ施設ヲ執行スル爲又ハ其施設ニ依リ必要ヲ生シタル事業

第五 國ニ於テ執行スル事業ニ對シテハ其種別ニ依リ關係公共團體ヨリ

相當ノ分擔金ヲ徵シ自治ノ活動ニ俟ツヘキモノニ付テハ國庫ヨリ相當ノ

率ヲ以テ補助ス

其概要左ノ如シ

一 主要街路（大體幅員六間以上）

イ 國道ニ付テハ工費ノ三分二（京濱國道ニ付テハ四分三）ヲ國ノ負擔トス

ロ 幅員十二間以上ノモノハ東京ハ十二分ノ六、橫濱ハ十二分ノ五ヲ國ノ負擔トス、但シ幅員二十四間ヲ超ユルモノハ其ノ超過部分ヲ全部國ノ負擔トス

ハ 幅員六間以上十二間未満ノモノハ從來ノ補助率ヲ以テ國ノ負擔分トス

ニ 橋梁ハ道路ノ例ニ依ル、但シ國道ニ架スル重要ナル橋梁ハ四分ノ三ヲ國ノ負擔トス

ホ 軌道ヲ敷設スルモノニ付テハ其ノ用ニ供スル部分ノ費用ハ軌道經營者ノ負擔トス、但シ地下鐵道ヲ敷設スルモノニ付テハ費用ヲ負擔セシ

メス占用料ヲ徵收ス

二 廣場

接續街路ノ例（廣キニ從フ）ニ依ル

三 河川運河

貨物終端驛ト港灣、工業地域又ハ倉庫地帶トヲ連絡スルモノ及工業地域若ハ商業地域内ノ幹線ニ付テハ街路ノ例ニ依ル

四 港灣

イ横濱港ハ從前ノ例ニ依リ東京港ニ付テハ二分一ヲ國ノ負擔トス

ロ京濱兩港連絡ノ爲ニスル水運ノ改良工事ハ二分一ヲ國ノ負擔トス

ハ地方費ノ負擔ニ屬スルモノハ東京及横濱ヲシテ其ノ人口ニ比例シテ負擔セシム

五 高速鐵道及軌道

各經營者ノ負擔トス但シ高速鐵道ニ付テハ地方鐵道補助法ニ依ル
補給ヲ爲スモノトス

六 防火設備

三分二ヲ國ノ負擔トス

七 上水道

國庫ノ補助ハ從來ノ通りトス

八 下水道

二分一ヲ國ノ負擔トス

九 公園

國ノ施設スルモノハ全部國ノ負擔トス、市ニ於テ施設スルモノニ
對シテハ官有地ヲ其用ニ供スルモノノ外用地實費ノ三分一ヲ國ヨ
リ補助ス

一〇 塵芥處分設備

國庫ヨリ四分一ヲ補助ス

一一 中央市場及屠場

同上

一二 火葬場及墓地

同上

一三 土地區劃整理事業

事務費ハ國ノ負擔トシ事業費ハ利害關係者ノ負擔トス

一四 一團地ノ住宅經營及住宅ノ供給事業計畫、國ニ於テ統制シ其ノ事

業費ハ經營者ノ負擔トシ低利資金ヲ供給ス

一五 地下埋設物ノ整理

全部國ノ負擔トス但シ國以外ノ使用者ヨリ使用料ヲ徵收ス

一六 警察及消防廳舍

國ヨリ三分二ヲ補助ス

一七 市區廳舍

市ノ負擔トス

一八 小學校

公共團體ノ負擔トス

一九 中等學校實業學校圖書館及博物館

管理者ノ負擔トス

二〇 職業紹介所、公設ノ市場及浴場、施療病院其他ノ社會事業

國ヨリ四分一ヲ補助ス

二一 復興ノ爲ニスル重要ナル應急設備

三分二ヲ國ノ負擔トス但シ現ニ國ノ經營ニ係ルモノハ國ノ負

擔トス

二二 復舊費

二分一ヲ國ノ負擔トス

第六 國ニ於テ施設スル帝都復興事業ハ五年間ニ完成スルモノトシ所要ノ經費ハ内外債ニ依リテ支辨シ必要ニ依リ割増金付小額債券ヲ發行シ地方費ノ負擔ニ屬スルモノニ付テハ主トシテ内債ニ依ラシメ國ヨリ貸付スル資金ニ付テハ復興事業ノ竣功スル迄ノ間無利息トシ復興スルニ從ヒテ可成速ニ償還セシムルノ方針ニ依リテ財政計畫ヲ確立シ事業ノ執行ニ因リテ特ニ利益ヲ受クル者ニ對シテハ受益ノ程度ニ應シテ相當ノ負擔ヲ爲サシムルノ外特別稅トシテ土地及營業ニ對シ課稅スルモノトス其財政計畫ノ概要左ノ如シ